



入場無料! お子さんと一緒にお楽しみください♪

「バギーのままコンサート vol.12」

ベビーカーや車イスのまま入場できる、バギーのままコンサート。今回は、クラリネット奏者の白石はるかさん、村上さくらさん、大川遥さんによるクラリネット三重奏をお届けします。小さいお子さんから大人の方まで楽しめる内容ですので、ぜひご来場ください。

期日▼9月9日(土)

時間▼午前11時開演(午前10時30分開場)

場所▼総合福祉センター「絆」

定員▼150人程度

その他▼▽授乳室、おむつ替え室があります。

▽会場内に、乳幼児用のハイハイスペースを設けます。▽定員を超えた際は、安全のため、入場制限を行う場合があります。

問い合わせ▼東海文化センター(☎282-8511)

※事前申し込みは不要です。

ふるさと歴史訪
〜自然を探して〜

東海村の赤とんぼ

日差しが穏やかになり、日の長さが徐々に短くなっていることが実感できる季節になると、体の色が赤いトンボが水田や広場などを群れで舞う姿を見ることができま
す。いわゆる「赤とんぼ」です。赤とんぼとは、成熟すると体の色が赤色に変化していくトンボ類の総称です。アカトンボという和名(日本で使用されている生物の名前)のついたトンボがいるわけではありません。今回は、村内で見ることが出来る赤とんぼをいくつか紹介します。

目にする機会の多い赤とんぼはアキアカネとナツアカネです。よく似た姿をしていますが、翅が生えている胸部の模様を見ることで区別ができます。成熟するとメスよりもオスの方がより赤みの強い体色となります。

翅の先端に黒い模様をもつ赤とんぼは数種類ありますが、村内ではノシメトンボが多く見られます。水辺の枝先などに止まって縄張りをつくり、餌となる小さな昆虫を捕食したり、近づいてきた他の個体



【枝先に止まるアキアカネ】

ここ数年で使いやすい昆虫図鑑が多数出版されています。また、多くの人が携帯電話を持ち、手軽に写真を撮ることが出来ます。トンボを見つけたときには写真を撮って、種類を調べ、どのような環境に生息しているのかを記録として残してみたいかがでしょうか。

を追い払ったりする行動などを見ることが出来ます。
オスの顔が水色をしている、体が少し小さいのトンボはマイコアカネです。多くはな
いですが村内でも採集することが出来ます。
広場や駐車場などの開けた場所を群飛する、少し大きめの体で黄みがかかった体色のトンボはウスバキトンボです。日本へは東南アジアから飛来して、南方から世代交代をしながら北上していくと考えられています。今現在、ウスバキトンボが実際にどのくらいの移動をするのかを調べる全国調査が行われています。この調査にはどなたでも参加することが出来ます。興味のある方はインターネットで調べてみるとよいでしょう。

茨城キリスト教学園中学校教諭

中村 篤史